報 告

郡市医師会特定健診・保健指導担当理事連絡協議会

常任理事・地域保健部長　三戸　和昭

平成19年4月21日に「都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会」が開催されたのを受け、北海道においても去る5月12日に、特定健診・保健指導に関わる今後の対応についてと題し、「郡市医師会特定健診・保健指導担当理事連絡協議会」を、郡市医師会担当役員39名の出席により開催した。

宮本副会長より「制度の是非の検討はともかく、制度がスタートするにあたり、各医師会それから各会員の先生方がどのように対応していかなければならないかということで、本日お集まりいただいた。今後様々な場面で政治的な動き・対応が必要になると思うが、よろしくお願いしたい」との挨拶の後説明に入り、次のとおりの内容で進行した。

「制度説明」－今後の動きと地域・職域連携について－

道保健福祉部健康推進課砂山主幹より、「特定健診・特定保健指導の概要」「健診から指導実施への流れ」「各種保健事業の取り扱い」「医療保険者の主な作業工程」「保険者と健診機関との契約」「アウトソーシング基準」「計画における目標値と後期高齢者支援金の加算・減算」「保険者協議会と地域・職域連携推進協議会の位置づけ」「人材育成」について説明があり、健診を適切に実施するために必要な医師・看護師等が質量ともに確保されていることなどの人員に関する基準、健康増進法第25条に定められている受動喫煙防止措置が講じられていることなどの施設・設備に関する基準、標準物質による内部精度管理が定期的に行われ、検査値の精度が保証されていることなどの精度管理に関する基準、医療保険者に対し健診結果をCD－ROM等の電子媒体により提出することなどの情報の取り扱いに関する基準、利用者の利便性に配慮した健診を実施し受診率を上げるよう取り組むなどの運営等に関する基準について、また、「保険者協議会と地域・職域連携推進協議会の位置づけ」のところでは、それぞれの地域にある地域・職域連携推進協議会へ郡市医師会単位で参画し、特定健診等の共通理解と推進のための具体的連携事業等の検討ならびに実施に加わっていただきたいこと、「人材育成」では北海道糖尿病対策推進会議と連携し、糖尿病等生活習慣病予防対策のための人材育成事業を本年6月より立ち上げ、市町村や保険者所属の保健師・栄養士、事業委託先保健師・栄養士を対象に研修会やシンポジウム・実践交流会等を開催していきたいとの詳細な説明がなされた。

「制度説明」－今後の対応について－

道保健福祉部健康推進課菊沢課長より、今後の検討課題として、特定健診については「受診率の向上策」「受診者数の増加に応えられる、健診実施体制の確保」「受診しやすい環境作り」「医療保険者と健診機関との委託契約方式の調整」「健診データの電子化への対応」「精度管理の推進」の6点。特定保健指導については「指導を担える保健師・管理栄養士等の確保」「効果的指導の検討」「服薬治療中の指導対象外の人への対応」「ポピュレーションアプローチ」の推進の4点を挙げられた。

「受診率の向上策」として、道民へのメタボリック症候群の予防と健診の重要性の周知や医療保険者の取組みを促進し、5年後の平成24年度に参酌標準65％～80％を目指していること、「医療保険者と健診機関との委託契約方式の調整」では、健診委託単価と本人自己負担額の設定・統一化を挙げ、基本的には医療保険者の判断であり、医療保険者が統一単価を決めることは、公正取引委員会と厚生労働省との話し合いで可となっていること、「指導を担える保健師・管理栄養士等の確保」では、アウトソーシング先の情報が道内では今のと

ころないことなどの、詳細な説明がなされた。

－特定健診・特定保健指導　医師会の役割－

小職より医師会の役割として、二次保健医療福祉圏ごとに設置されている地域・職域連携推進協議会に郡市医師会の役員が参画することが必須であり、主導的な役割を担っていただきたいこと、看護協会・栄養士会と連携し休眠状態の有資格者の現場復帰の方策の検討、行政・保険者との折衝・連携、被扶養者の健診・保健指導は利便性を考え、市町村国保に実施を委託することも選択肢に加えて検討すること、アウトソーシング先の把握・評価が必要との説明を行った。

また、北海道医師会としても道の地域・職域連携推進専門部会に参画しており、今後この専門部会を精度管理、アウトソーシング先の検討、第三者評価機構・不服申し立て審査機関等の設置母体とする方向で検討していきたいと考えている。

－郡市医師会における実践例－

函館市医師会より医師会立の共同利用施設を、苫小牧市医師会より市立の保健センターをそれぞれ活用し、すこやか健診等を市からの委託を受け実践されている例の報告をいただいた。

最後に長瀬会長より「この制度にはまだ不明なところがたくさんあるが、皆様方がスムーズにやっていけるよう、北海道医師会としても全力を尽くす所存であるので、ご協力の程お願いしたい」との挨拶の後、終了した。

なお、当会では各郡市医師会に対し、「標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）」「保健指導における学習教材集（確定版）」等を収録したCD－ROMを配布しております。本制度に関する会合や研修会等でご活用いただけましたなら幸いです。

函館市医師会　竹田副会長

苫小牧市医師会　高柳理事

掲載内容の訂正について－第1064号（5月1日付）

北海道医報第1064号（平成19年5月1日付）掲載の「新規指定医療機関」において、まきぐち内科・循環器科クリニックの電話番号に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

〇第1064号の39ページ

	誤		正
・まきぐち内科・循環器科クリニック電話番号	011-618-1331	→	**011-618-1333**